

令和2年度予算のポイント

予算編成方針

令和2年度予算は、

**「東京2020大会を確実に成功させるとともに、
『成長』と『成熟』が両立した、輝ける『未来の東京』を
創る予算」**と位置付け、次の点を基本に編成しました。

- 1 東京2020大会を確実な成功へと導き、次世代へと継承するレガシーを創り上げること
- 2 都政が直面する諸課題に迅速かつ的確に対応するとともに、Society 5.0の実現に向けた施策など、東京が成長を生み続ける成熟都市として進化を図るための取組を積極果敢に進めること
- 3 将来にわたる施策展開を支えるため、都政改革を更に進め、ワイズ・スペンディング（賢い支出）の視点により無駄の排除を徹底し、財政基盤をより強固なものとする

◆ 令和2年度予算フレーム等の概要

() 内は元年度対比

◆ **一般会計歳出総額** **7兆3,540億円**
(▲1,070億円、▲1.4%)

- 一般会計の予算規模は、東京2020大会を確実に成功させるとともに、東京が成長を生み続ける成熟都市として進化を図るための取組に重点的に予算配分したことなどにより、**過去最大となった昨年度（7兆4,610億円）に次ぐ予算規模**となりました。

◆ **一般歳出（政策的経費）** **5兆5,332億円**
(▲647億円、▲1.2%)

- 一般歳出は、東京2020大会開催に向けた新規恒久施設の整備や体育施設の大規模改修などの減により、前年度に比べて647億円の減となりました。

◆ **税収** **5兆4,446億円**
(▲585億円、▲1.1%)

- 都税収入は、地方消費税率引上げの影響が増要因となる一方、地方法人課税の見直しの影響等による法人二税の減などにより、**約600億円の減少**となりました。

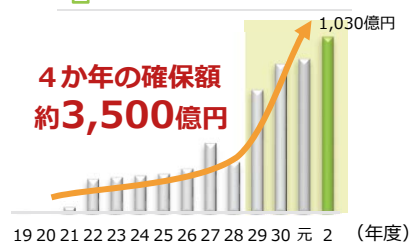
事業評価の推進

✓ 公表件数 **1,266件**
(+58件)

✓ 財源確保額 **1,030億円**
(+130億円)

- 施策の不断の見直しや、無駄の排除の徹底により、**過去最高**となる**1,266件**の評価結果を公表し、評価の結果を通じて、**約1,030億円**の財源を確保しました。
- 確保した財源の活用などにより、**420件**の新規事業を構築しました。

財源確保額の推移



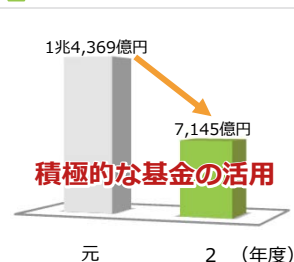
基金残高

1兆7,981億円
(▲7,322億円、▲28.9%)

* 財政調整基金等を含む

- 東京2020大会の確実な成功に向けた取組などを着実に進めるため、**3つのシティ実現に向けた基金を積極的に活用**します。
- 今後は、将来の財政需要を見据え、**基金残高を確保**するとともに、「『**未来の東京**』戦略ビジョン」が描く**新たな政策を積極的に後押し**するために活用していきます。

3シティ基金残高の推移

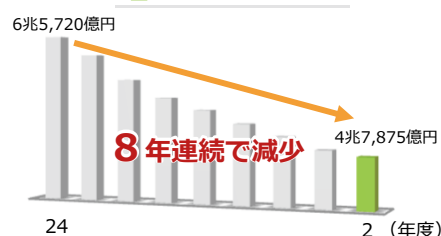


都債残高

4兆7,875億円
(▲835億円、▲1.7%)

- 今後の膨大な財政需要を見据え、将来世代の負担を考慮して**都債の発行額を抑制**し、将来に向けての発行余力を培いました。
- **都債残高は8年連続の減少**となっています。

都債残高の推移



令和2年度予算の主要事項

I 誰もがいきいきと活躍できる都市

	予算額
子供にやさしい社会の実現	2,490億円 (+288億円)
新しい時代を切り開く人材の育成	1,152億円 (+253億円)
世界に誇る長寿社会の実現	702億円 (+1億円)
誰もが輝き、活躍できる社会の実現	302億円 (+48億円)
多様性を尊重する社会の実現	329億円 (+37億円)
居場所の創出や地域コミュニティの活性化	20億円 (+2億円)



II 安全安心で住みやすい都市

	予算額
災害の脅威から都民を守るまちづくり	2,218億円 (+47億円)
暮らしの安全・安心の確保	417億円 (+41億円)
都市機能の更なる強化	3,636億円 (▲28億円)



III 日本の発展を牽引し世界の中で輝く東京

	予算額
世界経済を牽引する都市の実現	294億円 (+73億円)
中小企業・地域産業の支援	2,959億円 (+9億円)



IV 「スマート東京」の実現

	予算額
「電波の道」で「つながる東京」	29億円 (+26億円)
公共施設や都民サービスのデジタルシフト	110億円 (+96億円)
都庁のデジタルシフト	19億円 (+17億円)



V 美しく、魅力あふれる都市

	予算額
ゼロエミッション東京の実現	659億円 (+218億円)
水と緑あふれる都市環境の形成	87億円 (+28億円)
魅力にあふれる観光都市の実現	239億円 (+42億円)



VI 史上最高のオリンピック・パラリンピックの開催とレガシーの創出

	予算額
史上最高のオリンピック・パラリンピックの開催とレガシーの創出	3,262億円 (+605億円)



VII 多摩・島しょの振興

	予算額
多摩・島しょの振興	2,409億円 (+78億円)



「『未来の東京』戦略ビジョン」の戦略の核となる3つのC

- 東京都では、令和元年12月に、2040年代に目指す東京の姿「ビジョン」とその実現のために2030年に向けて取り組むべき「戦略」を示した「『未来の東京』戦略ビジョン」を策定しました。戦略ビジョンでは、**政策面からの視点である3C（Children、Chōju、Community）**を、戦略の核に据えています。
- **時代を切り拓くカギは「人」**です。「子供が社会で大切にされ、笑顔で伸びる・育つ」、「長寿の方々が経験を活かし、いきいきと活躍する」、「女性、障害者、外国人を問わず、一人ひとりが自らの意思で未来を切り拓く」、このような**「人が輝く」東京を創り上げるための取組**を進めていきます。

Children ～未来を担う子供を育む～

- 子供や子育て世代を取り巻く課題は複雑化・多様化しています。未来を担う子供を育み、明るい未来を紡いでいくための施策を積極的に展開していきます。

令和2年度取組事例

- **とうきょうママパパ応援事業** 27億円
- **TOKYOスマート・スクール・プロジェクト** 57億円
- **ひとり親家庭支援センター（多摩拠点）の設置** 0.4億円

Chōju ～人生100年時代を元気に～

- 日本は世界有数の長寿国です。これを誇りとして、人生100年時代を誰もが生きがいを持ち、元気に活躍できる東京を実現するための施策を進めていきます。

令和2年度取組事例

- **AI等を活用した認知症研究事業** 10億円
- **高齢者施設等のBCP策定支援事業** 1億円
- **東京都立大学プレミアム・カレッジの運営等** 2億円

Community ～みんなが集い、暮らす～

- 人と人がつながりを保ち、支え合いながら暮らしていくことができるよう、様々な形の「居場所」の創出や、地域コミュニティの活性化に向けた取組を推進していきます。

令和2年度取組事例

- **コミュニティの活性化を支援する新たな財団の設立** 2億円
- **地域の底力発展事業助成** 3億円
- **シェア居住事業** 7百万円